



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月10日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8041 URL <http://www.oug.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷川 正俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営基盤グループ (氏名) 中江 一夫 TEL 06-4804-3033  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	251,887	4.0	1,411	△26.9	1,522	△22.5	845	△50.8
26年3月期第3四半期	242,121	2.2	1,931	—	1,963	—	1,717	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,189百万円 (△36.6%) 26年3月期第3四半期 1,875百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	15.45	—
26年3月期第3四半期	31.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	99,423	17,469	17.6	318.91
26年3月期	69,019	16,601	24.1	303.85

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 17,469百万円 26年3月期 16,599百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	315,000	0.8	1,300	△31.8	1,400	△28.4	700	△57.9	12.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	55,622,921株	26年3月期	55,622,921株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	844,857株	26年3月期	991,277株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	54,701,597株	26年3月期3Q	54,633,889株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税や台風・大雨等の悪天候などの影響もあり、景気の回復にはもたつきが残るものの、企業収益を起点に雇用環境の改善など前向きな環境が続き、個人消費に弱さがみられるが、緩やかな回復基調にありました。消費者心理については消費税増税や物価上昇による実質所得の目減りから日用品を中心に節約志向が依然として続く中、消費者の購買行動は多様化してきております。

水産物流通業界におきましては、輸入水産物は円安及び国際競争の激化などにより、調達コストが上昇し、販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあつて、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,518億87百万円（前年同四半期比104.0%）となりました。損益面では、売上総利益は172億48百万円（前年同四半期比97.2%）となり、営業利益14億11百万円（前年同四半期比73.1%）、経常利益15億22百万円（前年同四半期比77.5%）、四半期純利益8億45百万円（前年同四半期比49.2%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、取扱数量は減少したものの販売単価の上昇により売上高1,590億11百万円（前年同四半期比106.1%）となりましたが、仕入コストの上昇などによる売上総利益率の低下によりセグメント利益7億87百万円（前年同四半期比74.0%）となりました。

#### <市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、販売単価は上昇したものの販売数量の減少により売上高907億83百万円（前年同四半期比99.8%）、仕入コストの上昇及び市況の変動などによる売上総利益率の低下によりセグメント利益46百万円（前年同四半期比7.6%）となりました。

#### <養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、販売数量は減少したものの販売単価の上昇などにより売上高61億63百万円（前年同四半期比125.8%）、餌料価格の上昇から生産コストは上昇しましたが、売上高の増加によりセグメント利益5億67百万円（前年同四半期比293.7%）となりました。

#### <食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、鮭鱒等の原料事情の悪化を主因とする販売数量の減少などにより売上高35億76百万円（前年同四半期比95.1%）となり、原材料価格の上昇など利益率の低下によりセグメント損失78百万円（前年同四半期はセグメント損失62百万円）となりました。

#### <物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、取扱い数量の減少などにより売上高13億85百万円（前年同四半期比85.3%）、セグメント損失59百万円（前年同四半期はセグメント損失22百万円）となりました。

#### <その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、当期より連結子会社を1社増加したことなどにより売上高38億40百万円（前年同四半期比107.5%）、セグメント利益37百万円（前年同四半期比55.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて304億4百万円増加し、994億23百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加198億42百万円、たな卸資産の増加79億12百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて295億36百万円増加し819億54百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加163億32百万円、借入金の増加113億89百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて8億67百万円増加し174億69百万円(自己資本比率17.6%)となりました。主な要因は、四半期純利益の計上8億45百万円、配当金の支払3億33百万円などによる利益剰余金の増加4億99百万円、その他有価証券評価差額金の増加3億93百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月13日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、㈱モトイは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 追加情報

(従業員持株E S O P信託に関する会計処理方法)

当社は、当社グループ従業員に対する当社グループの中長期的な企業価値向上へのインセンティブ付与、福利厚生の拡充、及び株主としての資本参加による当社グループ従業員の勤労意欲高揚を通じた当社グループの恒常的な発展を促すことを目的とし、信託型従業員持株インセンティブ・プランとして「従業員持株E S O P信託」(以下、「E S O P信託」という。)を導入しております。

E S O P信託に関する個別財務諸表の会計処理については、総額法を適用しており、E S O P信託が保有する当社株式は純資産の部に自己株式として表示しております。

なお、総額法の適用により計上されている自己株式の帳簿価額は、前連結会計年度末174百万円(946,000株)、当第3四半期連結会計期間末142百万円(777,000株)、借入金の帳簿価額は、前連結会計年度末174百万円、当第3四半期連結会計期間末145百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,971	3,209
受取手形及び売掛金	26,461	46,304
商品及び製品	18,352	26,175
仕掛品	1	0
原材料及び貯蔵品	202	292
その他	1,091	1,262
貸倒引当金	△259	△423
流動資産合計	47,822	76,821
固定資産		
有形固定資産	11,291	11,866
無形固定資産	3,409	3,802
投資その他の資産		
投資有価証券	5,544	6,094
その他	1,870	1,582
貸倒引当金	△918	△744
投資その他の資産合計	6,496	6,932
固定資産合計	21,197	22,602
資産合計	69,019	99,423
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,349	34,681
電子記録債務	—	85
短期借入金	16,315	28,155
1年内返済予定の長期借入金	1,842	1,155
未払法人税等	157	460
賞与引当金	649	326
その他	3,554	4,752
流動負債合計	40,867	69,615
固定負債		
長期借入金	6,417	6,654
退職給付に係る負債	2,436	2,346
役員退職慰労引当金	102	83
その他	2,592	3,253
固定負債合計	11,550	12,338
負債合計	52,417	81,954

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,090	6,090
利益剰余金	3,765	4,264
自己株式	△183	△157
株主資本合計	16,168	16,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	792	1,186
繰延ヘッジ損益	3	△19
土地再評価差額金	△337	△337
退職給付に係る調整累計額	△26	△52
その他の包括利益累計額合計	431	775
少数株主持分	2	—
純資産合計	16,601	17,469
負債純資産合計	69,019	99,423

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	242,121	251,887
売上原価	224,370	234,638
売上総利益	17,750	17,248
販売費及び一般管理費	15,819	15,836
営業利益	1,931	1,411
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	118	123
その他	180	226
営業外収益合計	302	353
営業外費用		
支払利息	233	215
その他	36	27
営業外費用合計	270	243
経常利益	1,963	1,522
特別利益		
投資有価証券売却益	40	16
特別利益合計	40	16
特別損失		
固定資産売却損	17	—
固定資産除却損	9	—
事務所移転費用	—	22
特別損失合計	27	22
税金等調整前四半期純利益	1,976	1,516
法人税、住民税及び事業税	167	512
法人税等調整額	91	158
法人税等合計	259	671
少数株主損益調整前四半期純利益	1,717	845
少数株主利益	0	—
四半期純利益	1,717	845



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,717	845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	164	393
繰延ヘッジ損益	△6	△23
退職給付に係る調整額	—	△26
その他の包括利益合計	158	344
四半期包括利益	1,875	1,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,875	1,189
少数株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	144,935	88,907	3,515	1,490	857	239,706	2,414	242,121	—	242,121
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,931	2,058	1,385	2,270	766	11,412	1,159	12,571	△12,571	—
計	149,866	90,965	4,901	3,760	1,624	251,119	3,574	254,693	△12,571	242,121
セグメント利益 又は損失(△)	1,063	606	193	△62	△22	1,778	66	1,845	85	1,931

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額85百万円には、セグメント間取引消去882百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△797百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	153,841	88,866	4,441	1,441	738	249,329	2,557	251,887	—	251,887
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,170	1,916	1,722	2,134	646	11,591	1,282	12,874	△12,874	—
計	159,011	90,783	6,163	3,576	1,385	260,921	3,840	264,761	△12,874	251,887
セグメント利益 又は損失(△)	787	46	567	△78	△59	1,262	37	1,299	112	1,411

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

また、第1四半期連結会計期間より、㈱モトイは重要性が増したため、連結の範囲に含めており、「その他」に含めて表示しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額112百万円には、セグメント間取引消去974百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△861百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。